

製品名: TDAG51 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18757

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	PHLDA1
別名	PHLDA1; PHRIP; TDAG51; Pleckstrin homology-like domain family A member 1; Apoptosis-associated nuclear protein; Proline- and glutamine-rich protein; PQ-rich protein; PQR protein; Proline- and histidine-rich protein; T-cell death-associated
遺伝子 ID	22822.0
SwissProt ID	Q8WV24
免疫原	抗血清はヒト PHLA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

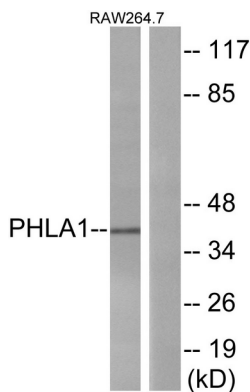
背景

この遺伝子は、進化的に保存されたプロリン-ヒスチジンに富む核タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、インスリン様成長因子-1の抗アポトーシス作用において重要な役割を果たす可能性があります。[RefSeq提供、2008年7月]機能：アポトーシスの制御に関与していると考えられます。剥離を介したプログラム細胞死に関与している可能性があります。神経発達中のアポトーシスを媒介している可能性があります。IGF-1の抗アポトーシス作用の制御に関与している可能性があります。翻訳制御に関与している可能性があります。誘導：ホモシステインなどのERストレス誘導因子によって誘導されます。ホルボルエステル(TPA) /イオノマイシン、およびT細胞におけるT細胞受容体(TCR)複合体の刺激によって誘導される。類似性：1つのPHドメインを含む。細胞内局在：細胞内小胞と共局在する。サブユニット：RPL14、EIF3S7、およびPABPC4と相互作用する。組織特異性：広く発現しており、膵臓で最も高い発現を示す。良性メラノサイト性母斑で強く発現し、原発性および転移性メラノーマでは徐々に発現が低下する(タンパク質レベル)。

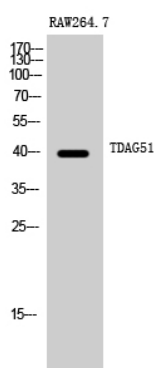
研究分野

細胞生物学

画像データ



PHLA1抗体を用いたRAW264.7細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TDAG51ポリクローナル抗体を用いたRAW264.7細胞のウェスタンブロット解析